

地方創生に資する金融機関等の『特徴的な取組事例』における大臣表彰について

秋田県信用組合（理事長 北林 貞男）は、内閣官房デジタル田園都市国家構想実現会議事務局が選定する、令和3年度地方創生に資する金融機関等の『特徴的な取組事例』に選定されましたのでお知らせいたします。当組合では、平成28年度「『秋田どじょう』特産化のためのどじょう養殖事業への支援」、平成29年度「小さな起業の芽を大きく育て『儲かる農業』の実現へ～にんにく栽培で地域に力を～」、令和元年度「小水力発電事業による地域経済の活性化に向けた取組」に続いて4度目の表彰となります。

本事例は、内閣官房デジタル田園都市国家構想実現会議事務局が、金融機関等の地方創生に資する取組のうち、地方公共団体と連携している事例や先駆性のある事例を選定し、公表しているものです。

当組合では、今後も地方創生を通じた地域課題の解決に取り組み、地域の発展に貢献して参ります。

【取組内容】

「人口減少・過疎化が進行する上小阿仁村を日本一元気な村へ、村と共に挑む地方創生への取組」

当組合は、2016年に上小阿仁村と地方創生包括連携協定を締結し、これまで地域の特産品（ほおずき・こはぜ）を活用した商品開発・販売支援に連携して取り組んで参りました。また、2021年に「上小阿仁村を日本一元気な村にする」のテーマで、村内経営者や若手創業者を対象とした経営塾を開催し、村内企業の活性化に取り組んでいます。

これまで特産品を活用した商品を20アイテム開発したほか、首都圏の通販会社や百貨店との成約、村内における新規雇用の実現等、地域活性化に資する成果に繋がっています。

【ご参考】地方創生に資する金融機関等の『特徴的な取組事例』

<https://www.chisou.go.jp/sousei/meeting/kinyu/jirei.html>

！ <本件に関するお問い合わせ先>
！ 秋田県信用組合 経営支援部 坂上・鈴木
！ TEL：018-831-3551 FAX：018-833-2400
！ E-mail：keiei@akita-kenshin.jp

● 「人口減少・過疎化が進行する上小阿仁村を日本一元気な村へ、村と共に挑む地方創生への取組」
(秋田県信用組合)

1. 取組の概要

・秋田県上小阿仁村は、県のほぼ中央に位置する山あいの村である。村では「特産品を活用した魅力ある村づくり」を掲げ、2016年からほおずきやこはぜを活用した商品開発を進め、人口減少問題、働く場の創出等に挑んでいる。秋田県信用組合(以下「当組合」)は、同戦略の推進を後押しするため、村民や村内企業が参加する「持続可能なコミュニティビジネス」の構築を進めながら、地域の有機的な活動支援に取り組む。

2. 取組を始めるに至った経緯、動機等

・2016年、当組合は上小阿仁村との「地方創生包括連携協定」を契機に、人口減少が著しい同村の地方創生推進提案を行うなかで、特産品(ほおずき・こはぜ)を活用した商品開発について協力要請を受けた。同村は当組合の営業地域であり、村と共に地域活性化に取り組むことは営業戦略上重要な取組であることから、協力要請に応じたこととした。
・事業のスタートとして、まずはほおずき・こはぜのファイトケミカル(抗酸化作用・活性酸素除去・抗脂肪)に着目した商品開発を行い、「道の駅かみこあに」を訪れる県内外の顧客をターゲットに、魅力ある商品づくりと販売促進を行うことで、村内経済の活性化を推し進めることとした。

3. 具体的な取組内容

・村からほおずき・こはぜの栽培を行う村民へ種苗を配布し、収穫した一次産品は「道の駅かみこあに」を運営するかみこあに観光物産(株)が全量買取りを行う体制を構築。当組合では、買取り後の一次産品の保管方法や衛生管理方法をアドバイスし、体制構築に寄与した。
・商品企画から試作・開発段階まで共同で取り組み、開発商品(お酒、コンフィチュール、ケーキ、パン等)を「道の駅かみこあに」で販売。さらに販路拡大や売上向上のため、商談会の出張支援やクラウドファンディングの活用提案を行い、共同開発商品に限らず同村の魅力発信・PRを支援した。
・2021年9月、地方創生包括連携協定に基づき、「上小阿仁村を日本一元気な村にする」のテーマで、村内経営者や若手創業者を対象とした経営塾「村ムラ塾」を当組合主催で開始。村内企業の創業支援や経営支援を行い、村内活性化や産業振興等に取り組んでいる。

4. 実施にあたり工夫した点(金融機関の役割・推進体制面・PDCAサイクル面等)

・食品業界の知見を有する当組合職員を生かし、商品企画・開発段階から製造現場指導(トレーサビリティ構築、マニュアル作成等)、販売指導(商品陳列アドバイス、バイヤーとのマッチング等)まで伴走することで総体的に関与し、村との連携を高めている。
・「道の駅かみこあに」の販売商品の実績や顧客の声を収集し、それらをもとに改善提案を行うことで、PDCAサイクルの実践をサポートしている。
・「村ムラ塾」開催にあたり、村内経営者に対する事前ヒアリングをもとに経営課題を洗い出し、ニーズに合わせたテーマや講義内容を設定している。また、村内事業者のモチベーションを高めることを狙いに、県内で先進的な事業展開を行う経営者を塾長としている。

5. 取組の成果(取組中の場合は目標値・KPI等)

・販路開拓支援の結果、関東の通販会社や百貨店と成約。クラウドファンディングでは30万円の資金調達と共同開発商品の認知度向上に寄与した。
・村の加工所で2名の新規雇用を実現し、これまでにほおずきやこはぜを活用した商品を20アイテム開発。特産品収穫量を2016年と2021年で比較すると、ほおずき(200kg→380kg)、こはぜ(400kg→1.2t)へと増加している。今後は特産品の範囲を拡げ、えごまや柿の栽培人口を増やす予定。
・「村ムラ塾」は、次年度以降も継続する予定であり、村内事業者が取り組む新たな事業の推進を後押しすることで、地域経済の活性化につなげていく。

6. スキーム図等

